

# 天理さくらウォーク おやさと桜 MAP

ルート所要時間 約1時間40分 ※見物時間は除く



## ①陽光ザクラ 3月初旬



天理の数ある桜のなかで、毎年真っ先に開花します。鮮やかな紅紫色で一重咲き、大輪の花を下向きに咲かせます。

## ⑧八重ザクラ 4月中旬



天理で最も遅咲きで開花期間は長め。花弁は多く、ボリュームある花を咲かせます。

## ④エドヒガンザクラ 3月中旬



花は一重で薄紅色。名前の通り、春の彼岸ごろに花を咲かせ、長寿の木として知られています。

## 天理教教会本部

人間創造の元の場所である聖地「ぢば」に、天理教教会本部の神殿が建っています。神殿には、ぢばを中央にして東西南北に礼拝場があります。最も古い北礼拝場は、大正2年竣工。東西南北の礼拝場の総畳数は3157畳です。どなたでも参拝できます。



## ⑥プリンセス雅

天皇陛下（当時は皇太子殿下）と雅子皇后のご成婚を記念した品種。花弁はピンク色で大きく、その重さでうつむき加減に咲くのが特徴です。



3月下旬

## ⑤布留川河川敷 3月下旬～4月初旬



ソメイヨシノ、ベニシダレザ克拉、陽光ザ克拉など5種類の紅白の桜、数十本が一斉に開花します。陸橋からの展望がお勧めのビューポイントです。

## ①シダレザ克拉 3月下旬



3本あるシダレザ克拉は天理の「桜の顔」。丸太と竹で組まれた支柱で枝を支えることで、大きく成長しました。大木の一面に花が咲くさまは圧巻です。別席場といわれる神様のお話を伝える施設に隣接していることから、見学する際は、お静かにお願いします。

## ②ソメイヨシノ 3月下旬～4月初旬

日本を代表する品種。境内地をはじめ各所に植えられています。



## ③アタミザ克拉 3月初旬～下旬



日本列島で最も早咲きの桜で、インド原産の寒桜の一種。開花期間は1か月以上と長く、淡いピンク色の一重の花を咲かせます。

# 天理のさくら Story

全国各地から寄せられた『真心の競演、

天理は知る人ぞ知る「桜の名所」。13品種、約2万本の木々が、3月初旬から初夏まで長く花を咲かせます。そのほとんどが、全国各地の天理教信者からのお供え（寄贈）によるものです。

なかでも、ひときわ目を引き、多くの人を魅了する別席場前広場の3本のシダレザクラ（MAP面★）は、東北有数の桜の名所・秋田県角館から献納されました。

昭和29年、同地にある天理教教会の会長が、教会前にあった樹齢200年のシダレザクラをぜひ天理教の本部にお供えしたいと考えました。

その会長は、子供たちと一緒に桜の種を拾い集め、毎年50~60粒ほどを土に埋めました。すぐに芽は出ませんでしたが、根気よく3年ほど続け、ようやく発芽。これを植え替えて、さらに丹精しました。

こうして会長は昭和33年、苗木40本を持参して列車で天理へ参り、その後も36年と37年に苗木を献納したのです。



苗木は天理の各所に植えられ、残りは畑で育てられました。いま私たちの目を楽しませてくれるシダレザクラは、畑で丹誠したものを見し替えたもの。本来は大きく成長しない品種ですが、丸太と竹で組んだ支柱で枝を支えることで大きく育ちました。

このように天理教教会本部周辺を彩る見事な桜は、どれも全国の信者から献納された苗木を、手間暇をかけて丹精したものなのです。

天理を思う真心の種、の数々が花開き、いまもこの地を訪れる人々を楽しませています。



## おやさと 花だより 春



定価 495円 [本体450円]  
B5判中綴じ／32ページ／オールカラー

天理教教会本部周辺では、一年を通してさまざまな花木が景色を彩ります。特に桜の種類は豊富で、満開の時期には大勢の人々が訪れます。本書は、桜を中心に神苑周辺を彩る花々の見ごろやエピソードなどを紹介しています。

### おやさと書店

天理教教会本部のそばにある書店（MAP面を参照）。本書をお買い求めいただけます。休憩スペースも充実！ぜひ、ご利用ください。  
窓口時間=9:00~17:00  
※天理教教会本部の祭典日は時間帯が異なります。

【問い合わせ】

奈良県天理市三島町432-1 おやさと書店  
TEL 0743-63-2684

### 開花情報

インスタグラムで随時、発信中。また、「#天理さくらウォーク」で、桜の写真も募集しています。



### ライブカメラ

天理教ホームページで、シダレザクラの映像をご覧いただけます。



「おやさと桜MAP」をダウンロードできます。



Googleマイマップ「おやさと桜MAP」にアクセスできます。



周辺の観光情報については 天理本通り商店街 天理市観光協会 で検索！